

串木野高校のビブリオバトル大会

鹿児島県立串木野高等学校

図書館係 三原 純孝

1 はじめに

高校生の読書離れが叫ばれるようになってもうかなりの時がたちますが、高校生に携帯電話やスマートフォン(スマホ)が普及しはじめて約 20 年ほどになります。その間高校生を中心とした若者から、活字がどんどん失われていったように思います。

そのような中で、本校では昨年度から全校でのビブリオバトル大会を始めました。まず、全員が本を手取るようにということで、クラス予選①、クラス予選②と行い、最後の校内大会を行い、チャンプ本を選ぶという流れです。

本校では総合的な学習の時間(本校では「探究の時間」とする。以下「探究」)を使い、11 月から 12 月にかけて「探究」の時間を 4 時間使って行いました。小中学校でもやったことがあるという生徒はいましたが、学校全体で行うのは初めての生徒が多かったために、まずはガイダンスを行いました。ガイダンスでは、図書担当の教諭がビブリオバトルの概要と方法を説明し、先生方に模範演技をしていただきました。模範演技といっても先生方も初めての方々ばかりで、動画を見たりして練習をしてから本番に臨んでおられたようです。

2 大会の日程

- ① ビブリオバトルガイダンス 11/1(金)6 限 探究
 - ・体育館に全校生徒集合し、方法と日程を説明する。
 - ・各学年代表の職員が実際に演技を行い、審査まで行う。
- ② クラス予選 1 回目 11/8(金)6 限 探究
各学級 4～6 班に分かれ、その中から代表を 1 名決める。
- ③ クラス予選 2 回目 11/22(金)6 限 探究
各班の代表が出て、クラス代表を 1 名決める。
- ④ 校内大会 12/6(金)6 限 探究
各学級代表が出て、校内チャンプを決める。

3 ビブリオバトルガイダンス 11/1(金)



5 人の先生方にやってもらいました。

紺屋菜都美先生(理科) 「陽気なギャングが地球を回す」伊坂 幸太郎
 中村麻衣子先生(数学) 「かがみの孤城」辻村 深月
 上園 聡子先生(国語) 「昨夜のカレー、明日のパン」木皿 泉
 大田 慎也先生(理科) 「『のび太』という生きかた」横山 泰行
 市来 真美(教頭) 「心。」稲盛 和夫
 以上の先生方に実演してもらい、生徒たちも興味深く聞いていました。

4 クラス予選1回目 11/8(金)



1年から3年まで、各クラスで4人～6人の班を作り、それぞれの班でビブリオバトルを行い、チャンプ本は指さしで決めました。進行やタイムキープなどすべて各クラスの図書委員が行いました。

5 クラス予選2回目 11/22(金)



クラス予選1回目で決まった選手たちが、今度はクラス代表を決めるためにバトルを行います。今度はクラス全員の前で行うため緊張感が漂います。これも運営は各クラスの図書委員が行いました。

6 校内大会 12/6(金)



さすがにクラス予選を勝ち抜いてきた生徒ばかりで、みんな素晴らしい発表でした。質疑タイムにおいても生徒からどんどん手が上がり、2分間がすぐに過ぎていくような充実した時間を過ごしました。

7 生徒の感想

・自分の読んだことのない本や普段は手に取らない本も、聞いていてとても興味がわいてきて、本を読むことの素晴らしさやそれを他者に伝えることの面白さを感じました。

(1年女子)

・みんな面白い本を紹介していて、何よりも話し方が上手で楽しかったです。みんなの前で5分間も話ができる発表者の人たちはすごいなと感じました。僕もあのようにになりたいなあと思いました。次のビブリオ大会が楽しみです。(1年男子)

・みんなこの大会のためにクラス予選の時から入念に練習してきたんだと思うと、それぞれの本に対する愛着や情熱が伝わってくる気がしました。全校生徒の前で5分間喋り続けることは、きっとすごく緊張するだろうし労力も使うことだと思うので、それをした人たちは私にとって尊敬できる人たちです。(2年女子)

・とにかくすごいなと思いました。大勢の人前で恥ずかしがらずに堂々と振る舞うその姿、流ちょうに言葉を発し、本の良さを説明するところ、どの発表者たちも素晴らしいものでした。(2年男子)

・やはりクラス予選を勝ち抜いてきた人たちは話すのがうまいなあとと思った。個性的な感じもあったけどとにかく面白かった。全校生徒の前で5分間話すことはとても緊張するはずなのに、しっかりと本の面白さや見所が伝わってきたのですごくよかったと思う。また図書館にも今日の本をおいてほしいと思った。(3年女子)

・一人ひとりの発表への入り方や本の紹介の仕方がそれぞれ違っていて、とても面白かった。本の魅力をどう伝えるかをしっかり考えてきたのがわかる。緊張しているところも伝わってきたが、その中で発表しているのはすごいことだと思った。(3年男子)

8 おわりに

今年で2回目の校内ビブリオバトル大会でしたが、昨年にも増して充実した大会となりました。ガイダンスは教師の手が入りましたが、クラス予選から校内大会まではほとんど図書委員が企画・運営していきました。高校生の行動力には驚嘆させられるばかりです。これは鹿児島県高校生ビブリオバトル大会が8月に行われましたが、これに3名発表者として参加するとともに、図書委員全員がボランティアとして参加したことも大きかったと思います。

今後もこの大会を串木野高校に定着させ、高校生の読書率を上げていきたいと思っています。